



# 大塚製薬株式会社

(徳島県)

代表者：代表取締役社長 樋口 達夫

所在地：東京都千代田区神田司町2-9

徳島本部 徳島県徳島市川内町加賀須野  
463-10

業種：医薬品

事業内容：医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・  
化粧品の製造、製造販売、販売、輸出な  
らびに輸入

設立年：昭和39年(1964年)



従業員数：5,262人(男性4,074人、女性1,188人)うち徳島県内勤務者 計1,621人

URL：<http://www.otsuka.co.jp/>

## 企業の取り組み状況等

### 背景

大塚製薬では、ダイバーシティという概念が浸透していなかった1980年代から、企業の成長の原動力となる革新的な製品やアイデアを生み出すためには、国籍、人種、年齢、性別などの垣根を超えた多様な人材の活躍が必要と考え、経営トップ自らダイバーシティを積極的に推進してきました。1990年代には、女性を受け入れる側の管理職や女性自身の意識改革を行うため「女性フォーラム(後のダイバーシティフォーラム)」を開催するなど、いち早い取り組みを行っています。多様な社員のキャリア継続のため、育児や介護に関する休暇制度などを充実させているほか、モチベーションの維持・向上のための様々な施策を行っています。

### 取組

2007年よりダイバーシティ推進のための専任組織(ダイバーシティ推進プロジェクト)を立ち上げ、主に2つの観点から、多様な施策を行っています。

1) キャリア継続のための制度・仕組み・試み

- ・事業所内保育所の設置
- ・社員とその家族のための健康セミナー(自社の事業活動での知見を活かし、ホルモンバランスの変動により生じる女性の身体の変化を中心とした内容で実施。外部講師を招いて開催)
- ・在宅勤務制度(I-Work)
- ・育児、介護、女性疾患時の通院等各種制度の充実など  
(例：短時間勤務は小学校就学時まで、シフト勤務は中学就学前まで取得可能)

2)モチベーション向上のための施策

- ・Otuka Workshop(育児中のキャリアなどに関する情報共有の場。女性MRの活躍をより推進するために実施。)
- ・自主的リーダー勉強会「WING」(あるテーマに基づき、グループごとに調査や自主学習等を行い、会社への提案として解決策をまとめる人事主催の自主勉強会)
- ・イクメン、イクボス、イクジセミナー
- ・ダイバーシティフォーラム など

### 成果

女性も働きやすい職場環境にするための先進的な取り組みや成果が評価され、2008年に次世代認定マーク(愛称「くるみん」)取得、2014年に「ダイバーシティ経営企業100選」(経営産業大臣表彰)を受賞しました。また、MRは育児との両立は難しく妊娠と同時に辞める社員が多いことが業界全体の課題となっており、当社ではOtuka Women's Workshop開催以来、出産後も働き続ける女性MRは2009年と比較して15倍以上に増加。今では両立することが当たり前になりました。また、イクメン、イクボス、イクジセミナー開催などの取り組みにより、男性の意識も徐々に変化し、育児休業を取得する社員も増加しました。また、2011年に第1号となる事業内保育所を徳島県で開演しています。徳島の保育所は、現在では需要の増加により定員100名(当初)から約200名(2017年)に増員予定です。本保育所は、大塚グループ各社のすべての直接雇用者が利用でき(孫も利用可)、地域の待機児童解消にも貢献しているものと思います。さらに、2017年2月には、健康セミナーの開催など社員の健康への多様な取り組み等が評価され、経済産業省と日本健康会議により「健康経営優良法人〜ホワイト500〜」に認定されました。今後も、大塚製薬社員やその家族の健康の維持・増進のための職場環境の整備により一層努めてまいります。

### 応援してます！

自身も共働きで育児しながらの就業を経験しており、育児世代の大変さを十分理解しております。何でも相談できる雰囲気を作り、個々人の事情に合わせた働きかたを考え、提案するよう心がけています。育児休職、時短勤務などの人事制度や事業所内保育所の利用を促し、働きやすい職場環境になってきております。

### 活用しました！

仕事を続けていく上で、「育児休暇・時短勤務・事業所内保育園」とすべての制度を活用させていただき、大変ありがたく思っております。特に保育園では、スタッフの方の子供へのかかわり方がきめ細やかで安心して預けて仕事をすることができます。普段の保育園はもちろんのことヴォルティスのサッカー教室・工場見学等他にはない素晴らしい環境で子供も毎日楽しく登園しています。

